

新規漁業就業者確保・育成対策に関する提言について

令和5年度に、新規漁業就業者の確保・育成対策に関する今後の方向性を検討するため、学識経験者や漁業者代表等で構成する「千葉県新規漁業就業者確保・育成対策検討会議」を設置しました。

3回の会議を開催し、意見が取りまとめられ、「新規漁業就業者確保・育成対策に関する提言」をいただきました。

1 検討会議の概要について

(1) 名 称 千葉県新規漁業就業者確保・育成対策検討会議

(2) 委 員 学識経験者、漁業代表者等8名

| 区分 | 氏名 | 所属・役職名 |
|-------|--------|---------------------------|
| 学識経験者 | 関 いずみ | 東海大学人文学部 教授 |
| | 馬上 敦子 | (一社) 全国漁業就業者確保育成センター 事務局長 |
| 漁業代表者 | 鶴岡 裕生 | 千葉県地域漁業担い手確保・育成支援協議会 会長 |
| | 佐久間 國治 | 【内湾】 富津漁業協同組合 代表理事組合長 |
| | 鈴木 直一 | 【内房】 岩井富浦漁業協同組合 代表理事組合長 |
| | 石井 春人 | 【外房】 勝浦漁業協同組合 代表理事組合長 |
| | 和田 一夫 | 【銚子・九十九里】 銚子市漁業協同組合 副組合長 |
| 県職員 | 石黒 宏昭 | 水産課長 |

(3) 開催実績 3回

① 第1回会議

日 時 令和5年10月19日(木) 午後2時～

検討内容 ア) 漁業の担い手の現状

イ) 新規漁業就業者の確保・育成対策の現状・課題

② 第2回会議

日 時 令和5年11月28日(火) 午後2時30分～

検討内容 ア) 新規漁業就業者の確保・育成対策に関する今後の方向性の検討

イ) 水産系高校の現状

③ 第3回会議

日 時 令和6年1月26日(金) 午後2時～

検討内容 ア) 新規漁業就業者の確保・育成対策に関する提言取りまとめ

2 新規漁業就業者確保・育成対策に関する提言について（全14項目）

（1）新たな対策に関する提言（5項目）

【小型船漁業の就業者対策の強化】

- ①非漁家出身の漁業就業希望者が相談から独立するまでの伴走型の支援が必要なため、ワンストップで対応する組織の設置・運営等の検討が必要。
- ②漁業就業希望者が定着するには、新たな人材を迎え入れる地域の理解が必要なため、受入計画の作成や事業実施を担う市町や漁協を中心とした地域の受入れ体制の検討が必要。
- ③漁業技術や知識、漁船・漁具を持たない非漁家出身者が就業・独立することは難しいため、非漁家出身者が生活資金を得ながら技術や知識を習得する支援策の検討が必要。
- ④漁家子弟の就業を増やすため、漁業技術研修の対象に漁家子弟も含めるなどの支援策や最新のスマート水産機器の導入などによるもうかる漁業への転換などの支援策の検討が必要。

【大型船漁業の就業者対策の強化】

- ⑤大型船漁業の就業者が海技士免許を取得する際の負担を軽減するため、研修の受講に必要なとなる旅費等に対する支援策の検討が必要。

（2）これまでの対策に関する提言（6項目）

【漁業のPR／就業相談】

- ①全国の漁業就業希望者に千葉県漁業の魅力が伝わっていないため、漁業種類ごとに作成した動画のネット配信等の検討が必要。

【漁業体験】

- ②体験希望者の都合に合わせた受入れが就業につながるため、柔軟に受け入れられる体制やメニュー等の検討が必要。

【漁業技術研修】

- ③研修できる漁業種類や人数が限られているため、受入れ体制や予算の拡充等の検討が必要。
- ④一人前の漁業者を育成するには研修期間が短いため、研修期間の延長等の検討が必要。
- ⑤船主からの給料では研修生の生活を維持することが困難なため、住宅費の補助などの支援策の検討が必要。

【就業・定着】

- ⑥漁業技術を習得して自立するには多額の初期費用と長期間を要するため、漁船・漁具の導入や市町と連携した住居などの生活支援の検討が必要。

（3）水産系高校に関する提言（3項目）

- ①漁業者は即戦力人材を求めているため、釣り、刺し網漁業やスマート水産技術の活用などの実践実習の強化や近年注目されている海業や環境対策などに関連した授業の導入の検討が必要。
- ②入学生を増やすため、小・中学生を対象とした漁業の魅力アピールや卒業後の漁業就業イメージを示すなどの取組の検討が必要。
- ③各地からの生徒を受け入れるため、寮の整備などによる体制づくりの検討が必要。